

市指定文化財の武家屋敷を改修した宿泊施設 「茜さす 飢肥」2022 年 4 月 21 日開業

宮崎県日南市飢肥（おび）で日南市が所有する武家屋敷を活用した宿泊施設「茜さす 飢肥」が 2022 年 4 月 21 日に開業いたします。

飢肥は伊東家 5 万 1 千石の城下町として栄え、江戸時代初期の城下町としての地割りをよく留めております。飢肥に所在する当該物件（旧伊東伝左衛門家）は江戸時代後期に建築された上級藩士の武家屋敷であり、日南市の指定文化財になっております。

市が所有する市指定文化財を宿泊施設として活用するのは全国的にも珍しい試みです。地域の皆さまと連携し、地域の歴史と文化を体感する上質な宿泊施設を目指します。



1. 概要

(1) 名称 「茜さす 飢肥」
(由来)

“茜さす”とは茜色に照り映える意味から「紫」「日」などにかかる枕詞です。九州は筑紫島（つくしのしま）と古称されており、語の中に「紫」が含まれています。“茜さす”という名称には、照り輝く「日」を連想し、そこに続く「九州」を暗示しております。九州の島々に日の出が滲み、鮮やかに照り輝き、次代の黎明を感じさせる、そのような意味を名称に込めました。

(2) 所在地 宮崎県日南市飢肥 4 丁目 4-1

(3) 客室数 1 室（1 棟貸）

(4) ロゴマーク



「茜」の文字をデフォルメしたモチーフであり、地域の「人、食、文化、景観」を意味する4つの円が交わることにより、調和である結び目を表現しております。

(5) コンセプト

歴史的建造物で堪能する、上質な時間と空間、非日常を楽しむ「別荘」
・当該物件の立地、特徴、歴史、文化を紐解き、当該物件が持つ魅力を尊重し、非日常的な空間を演出しながらも、かけがえのない快適な日常の寛ぎを得られる宿泊施設として生まれ変わりました。

2. 客室

室数	定員	広さ	宿泊料金※1
1室	6名	約146㎡	99,000円～

※1 上記は1棟あたりの料金となりサービス料、消費税が含まれます。
宿泊日により宿泊料金が異なります。
朝食は1名様あたり2,000円(税込)が別途かかります。(予定)

3. 施設開業日及び予約開始日

施設開業日及び予約受付開始日は以下の通りです。

- 施設開業日：2022年4月21日
- 予約開始日：2022年3月24日

4. 予約受付方法

- ホームページ URL <https://www.akane-sasu.com/obi/>

- 予約に関するお問い合わせ

電話番号 上記ホームページにて3月24日より公開致します。

※ 3月24日より対応 受付時間 平日 10:00～17:30 (土日祝日除く)

メールアドレス akanesasu-obi@jrkyushu.co.jp

※ 3月24日より対応

- チェックイン・アウト 当該施設はIoTを活用したチェックイン・アウトとなります。

5. 施設概要

建設年	江戸時代後期
構造	木造平屋建て
敷地面積	約752㎡
延床面積	約146㎡
設計	森田一弥建築設計事務所
特徴	当該物件は横馬場通りと八幡通りの交差した角地を占める上級藩士の武家屋敷で、飢肥城下では最も古い武家住宅として日南市の指定文化財に指定されております。庭園や石垣も往時の姿を良くとどめており、庭園は国登録記念物に登録されております。

【施設イメージ】



「茜さす 飢肥」 居間イメージ



「茜さす 飢肥」 浴室イメージ

6. 朝食について

明治初年建設の薬問屋「小玉家」の建物を改修した「ギャラリーこだま」にて、日南市をはじめとした宮崎県各地の食材を取り入れた朝食をご用意しております。座敷からお庭と蔵を眺めながら朝食が頂けます。



朝食イメージ



「ギャラリーこだま」外観

7. 地域の皆さまとの連携

当社は D&S 列車「特急 海幸山幸」やカープ油津駅等で、日南市の地域の皆さまと連携を深め、日南市の観光促進を進めてまいりました。「茜さす 飢肥」においても飢肥城下まつり等の地域イベントと連携したプランを今後検討し、飢肥がさらに愛される場所となるよう、地域の皆さまとともに創り上げていきたいと考えております。



特急 海幸山幸



油津カープ駅

※この事業は当社の 2018 年度未来創造プログラム「HIRAMEKI」にて事業化に向けての検討が決定された案件です。「HIRAMEKI」とは、当社の全社員を対象とした新規事業提案制度です。提案が採用された社員は、その新規事業のプロジェクトに配属される制度となっています。社員が経営参画意識を持ち、会社と自分の未来を創り出していくことを目的としています。